

コシヒカリ・こしいぶき 生育速報 No.5 (7月10日)

上越農業普及指導センター

コシヒカリの葉色が急激に淡くなっています。**飽水管理を徹底し、穂肥は生育に応じて適正に施用しましょう！**

1 生育概況

高温、無降雨日が続き、コシヒカリでは葉色が急激に淡くなっています。また、草丈はコシヒカリ、こしいぶきともにやや長くなっています。

コシヒカリ	草丈:やや長い	茎数:やや少	葉数:並	葉色:やや淡い
こしいぶき	草丈:やや長い	茎数:並	葉数:並	葉色:濃い

			田植	幼穂 形成期	草丈(cm)			茎数(本/㎡)			葉数(葉)			葉色(SPAD 値)			調査
					本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差	
コシヒカリ	下稲塚	5/12	－	74	109%	95%	449	92%	88%	11.7	+0.4	+0.5	34.1	－0.4	－2.2	7/10	
	南新保	5/10	－	75	110%	106%	362	75%	99%	11.3	－0.0	+0.8	30.6	－3.9	－6.0	7/9	
	吉 崎	5/12	－	73	107%	100%	476	98%	95%	11.2	－0.1	+0.1	33.0	－1.5	－1.4	7/9	
	平 均		－	74	109%	100%	429	88%	94%	11.4	+0.1	+0.5	32.6	－1.9	－3.2	－	
	上百々	5/24	－	77	113%	99%	494	102%	99%	11.2	－0.1	+0.3	35.6	+1.1	－1.0	7/10	
	関 山	5/21	－	66	114%	102%	488	122%	90%	10.7	+0.0	－0.1	35.4	+0.4	－0.9	7/9	
こしいぶき	下稲塚	5/12	7/7	70	112%	100%	455	101%	89%	11.7	+0.3	－0.3	38.0	+2.0	+1.2	7/10	
	潟 町	5/18	7/9	61	98%	88%	459	102%	119%	11.5	+0.1	－0.3	39.7	+3.7	－4.5	7/9	
	平 均			65	105%	94%	457	102%	102%	11.6	+0.2	－0.3	38.8	+2.8	－1.7	－	

2 今後の気象〔北陸地方1か月予報(7/12-8/11)、新潟地方気象台発表〕

7月25日まで平均気温がかなり高く、曇りや雨の日が少ない見込みです。

3 今後の管理

- 根の健全化を図るため、飽水管理を徹底しましょう。
- 5/10 頃に田植えをしたこしいぶきの出穂期は前年並みの 7/27 頃の見込みで、2回目穂肥適期は7/16～17 になりますので、遅れずに施用しましょう。
- 5/10 頃に田植えをしたコシヒカリの出穂期は前年並みの 8/3 頃で、1回目穂肥適期は7/16 の見込みです。
- 幼形期のコシヒカリの草丈が75cm 以上、もしくは葉色 (SPAD 値) が35 以上の場合は、倒伏防止のため、穂肥量を控えたり、穂肥時期を遅らせたりしましょう。
- 田植え時期や品種が異なる場合は、幼穂の状態を確認して穂肥時期を判断しましょう (めやす: 穂肥1回目は幼穂長1cm、2回目は幼穂長8～11cm)。
- 一発肥料を施用した水田でも、葉色が淡い場合は追加穂肥を施用しましょう。
- 有機質由来窒素 50%以上含む肥料は肥料の効果が遅くなるので、化学肥料より2～3日早めに施用しましょう。
- 暑いときに深水にすると根腐れを助長し、収量・品質の低下につながるので、漏水田以外で湛水するときは、3cm程度の浅水にしましょう。
- 斑点米カメムシ類の発生量が多いので、農道・畦畔の草刈りを徹底しましょう。

※農作業中はこまめな休息や水分補給等の熱中症対策をしましょう。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当(電話025-526-9406)